

和歌山県立  
日高高等学校  
SGH ネットワーク通信  
第 15 号  
2024 年 3 月 18 日

令和 5 年度

リクルート座談会

3 月 4 日、5 日に株式会社リクルートの方が普通科 2 年生に向けて今後の進路を考える上で貴重な講演をしてくださいました。生徒たちは 3 学年への進学を前に、決まっていなかったことや不安なこともあり積極的に様々な質問をしていました。生徒は各々 2~3 名のリクルートの方のお話を聞くことが出来たので、今後の進路を考える上で貴重な機会となりました。



2 年 1 組 山本 詩月

こんな職業に就きたいというようなことは決まっているけれども、大学などをどのようにして決めたらよいか分らなかったのが今回の講演を聞いて、実際にもっとオープンキャンパスに行ってみようと思ったし、学部や学科などでしていることを調べたりしようと思った。「好きなことでも嫌いになることがある」というのを聞いて、好きなことをするのも大切だけど、自分に合ったことを見つけることも大事だと思った。



2 年 3 組 中西 晶萌

4 人の方々の受験や体験談を聞いて、全員が共通して大事だとおっしゃっていたことは、学部・学科の名前で進路を決めるのではなく、たくさん情報を集めて自分の興味のある内容の学部・学科に進むことが大事だということです。何事も見た目で判断するのではなく、中身を知った上で答えを導き出すべきだと思いました。「最終的にはどうにかなるから大丈夫」とおっしゃってくれたので、面接練習を始めていくときに、自分の意志を伝える練習をしようと思いました。

## 2年5組 嶋田 倫也

中学、高校で人前に出て発表をする機会があるとき、自分は人に任せて横で聞くことの方が多かったので、今回、総探の発表で人に研究したことを伝える難しさを知った。研究テーマも難しく、特に工夫する必要があった。聞く側の人には初めて聞く内容なので、難しい専門用語をわかりやすい言葉に言い換えることが難しかった。一番難しかったのは質問されたことに答えること。全く予想していなかったことを聞かれたとき、その場で考えてアンサーするというのは、相手の伝えたいことを理解し、自分の意思を適切に伝える力につながったと思う。

## 2年5組 柳木 初音

私は、総探の授業である1つの課題について班で協力して考えていく中で、自分の考えたことをはっきりと口に出すという積極性を身につけた。また、班の中でポスターを作る係と、発表原稿を作る係などの役割分担をしつつ、分からない所は助け合い、絆を深めることができた。そうすることで、限られた時間を有効的に使い、物事を進めていくことの大切さを再確認できた。また、実際にプレゼンテーションをする時には、どうしたら見やすいポスターになるか、話すスピードはどれくらいがいいかなどを考えて、私たちになりに分かりやすいプレゼンテーションを作ることができたと思う。